



環境について関心を持ってもらおうと、6月1日、市役所1階多目的ホールを主な会場として「岩国環境フェスタ2013」環境から考える私たちの暮らし」が開かれました。

水道週間や環境月間にちなんで行われたこのフェスタは、地球温暖化対策地域協議会、水道局など5団体が主催する恒例行事で、多くの家族連れでにぎわいました。来場者は12のブースを巡ってエコに関する実験や工作にチャレンジし、楽しみなが

岩国環境フェスタ2013

ら環境問題についての知識を深めました。各ブースには、LED電球と白熱電球の省エネ比較実験や、微生物が下水処理場で汚水を浄化する仕組みを紹介したコーナー、粘土を使ってミクロ生物の模型を作るコーナーなどが設けられました。また、オリジナルエコバッグ作りやクイズラリーは子どもたちに人気があり、クイズの正解者にはアサガオやゴーヤの苗がプレゼントされました。

環境保全課 ☎ 51100

楽しくエコに関心を

市政 PICK-UP



▲会場に展示されたバイオディーゼル燃料自動車

みんなで取り組む涼しい夏

5月22日、市役所庁舎西側で緑のカーテンの設置が行われました。この日は、福田良彦市長と職員がゴーヤやアサガオ、ジネンジョなどの苗を、ネットの下に置かれたプランターに植えました。この取り組みは、強い日差しをつる性の植物で遮ることにより室温の上昇を抑えるもので、温暖化防止に効果があり、今年で6回目となります。

市役所のほか、市内の学校や保育園、総合施設などに設置す



▲設置作業を行う職員ら

緑のカーテン設置

る予定となっており、福田市長は「緑のカーテンは節電効果があり、多くの市民に取り組んでもらいたいと思います」と話しました。

地球温暖化対策地域協議会では「緑のカーテンキャンペーン」を実施し、市全体の普及を目指しています。詳しくはホームページを参照してください。

<http://iwaco.web.fc2.com/osirase/motto/motto.html>
 環境保全課 ☎ 5100



▲植えられたアサガオの苗

若手の自由な発想力で

6月3日、市役所で行政経営改革の新たな取り組みとして発足した「行政経営改革若手職員プロジェクトチーム」の第1回会議が開かれました。

このチームは、限られた経営資源を有効活用して市民の満足度を向上させる行政経営の考え方に基つき、市政の改善を進める若手職員を育成することを目的として設置されました。公募により選任された23～30歳の8人は「岩国錦帯橋空港を活用し



▲意気込みを述べる女性職員

新プロジェクトチーム始動

「新たなまちづくり」をテーマとして調査や研究・検討を行い、12月に成果を提案します。

福田良彦市長は「梓にとらわれず、いろんな発想で夢と希望の持てるビジョンを描いてほしい」とあいさつし、8人のメンバーは「夢を持って頑張りたい」「市民の満足度が高まるよう、全力で取り組んでいきたい」などと抱負を述べ、意気込みを示しました。

行政経営改革室 ☎ 5029



▲テーマについて説明する福田市長